**共創チャレンジ２**　　**ワークショップ①**

**テーマ：日本人も外国人も、安心して暮らすことができる共生のまちづくり**

| | Ａ：現状と課題 | Ｂ：アクションアイデア | Ｃ：理想 |
|---|---|---|---|
| **事務局素案** | ●福岡都市圏において、外国人の人口が２番目に多く、今後も増加が見込まれる。<br><br>●外国人が日本での生活で困っていることは、「税金・年金」「病気やけがをしたとき」「近所の人との関わり方」などとなっている。<br><br>●多文化共生活動を行うボランティア団体等が少なく、外国人市民を支援できる人材が不足している。<br><br>●多文化共生団体が活動する場所が限られている。 | ●ボランティアや地域と連携した外国人コミュニティセンターの開設<br><br>・外国人転入者に対する支援<br>糸島での生活ルールに関する情報提供、生活に関わる困りごと相談窓口の設置等により、外国人の“糸島生活”を支援<br><br>・ニーズに沿った支援<br>日本人との交流、先輩外国人との交流機会の創出などにより、外国人の安心・充実した生活を支援 | ●外国人が安心して暮らすことができ、日本人市民との関係においてもお互いを尊重しながら良好な関係を築くことで、「将来の糸島生活に対する夢や希望」を持つことができるようになる。 |
| **付箋貼付場所** | | | |
| **グループとしての意見** | | | |

**ステークホルダー：市民、民間企業、大学、研究機関、金融機関、ボランティア・ＮＰＯ、地域の団体、共創チャレンジの対象者、市…**

共創チャレンジ対象者（外国人市民）、市民、多文化共生団体、民間事業者、学生、市